

防疫作業動員者の皆様へ

～発生農場へ派遣される方へのしおり～

【目次】

・派遣前の確認事項	P1
・支援センターでの作業	P3
・農場前テントでの作業	P9
・農場内での作業	P12
・作業終了後の対応	P16
・帰宅後の対応	P18
・健康調査のお願い	P19

宮 城 県

(令和7年9月 改正)

■派遣前の確認事項

1 派遣の可否判断（健康状態のスクリーニング）について

派遣に際して次の職員の方は農場内での防疫作業の対象となりませんので、該当する場合は速やかに所属へご相談ください・・・（1次スクリーニング）

- ① 呼吸器疾患、肝臓病、腎臓病、心臓病、糖尿病、血液疾患、精神疾患等で通院加療中の方
- ② 医師から重度の肉体労働を禁止されている方
- ③ 妊娠している可能性がある方
- ④ 当日、体調不良の方、体温37.5℃以上の方、最高血圧160・最低血圧100以上の方
- ⑤ 高血圧症で、最高血圧140・最低血圧90未満にコントロールされていない方
- ⑥ 10日以内に本人、または2日以内に家族にインフルエンザ既往歴がある方（鳥インフルエンザのみ）
- ⑦ 家きん（鳥インフルエンザのみ）・家畜類（鳥インフルエンザ以外の場合）を飼養されている方（発生農場以外での業務は可能）
- ⑧ 抗インフルエンザ予防薬（タミフル等）の処方を制限されている方（鳥インフルエンザのみ。発生農場以外での業務は可能）。

（例）ワルファリンを服用している方、抗インフルエンザ予防薬を服用してアレルギーや副作用が出たことがある方、主治医に抗インフルエンザ予防薬の服用を止められている方 等

2 服装について

（1）支援センターまで

- ・農場で着用する衣服を着た状態でお越しください。
- ・ロッカー、ハンガー等の準備はありません。
- ・農場に私物は持ちこめません（支援センターの受付に預けます）。



（2）農場内

- ・動きやすい服装で、洗濯できるものであることが原則です！
⇒Tシャツ（長袖）、長ズボン、長い靴下※（短いものはNG）。
※汗冷えする場合がありますので、速乾性の下着等が望ましいです。
※靴下は配布予定ですが、ご自身のものを着用していただく場合がございます。
- ・農場によって、畜舎内の温度が外気温と同様または高い場合があります。また、屋外の作業は時間帯によって大変冷え込みます。
- ・アクセサリ類は外してください。
- ・貼るホッカイロ（足先、お腹など）は配布予定ですが、不足する場合がありますので、心配な方は持参してください。



3 その他

食 事 作業中は、食事を用意しません（農場前テントにゼリー等の軽食は用意しております）。必要な方は各自準備し、支援センターで食事をしてください（農場への持ち込みはできません）。

※建設業協会等、8時間以上の長時間勤務が想定される職員については、十分な衛生対策を講じた上で、飲食物の持ち込みを可としておりますので承知願います。

飲 み 物 支援センター、農場前テントに水、スポーツドリンク等を用意しています（農場内への持ち込みはできません）。休憩時のこまめな水分補給をお願いします。

着 替 え 汗や消毒で濡れる場合がありますので、着替えをご持参ください。

着替えは、袋などに入れ記名し、支援センターにお預けください。

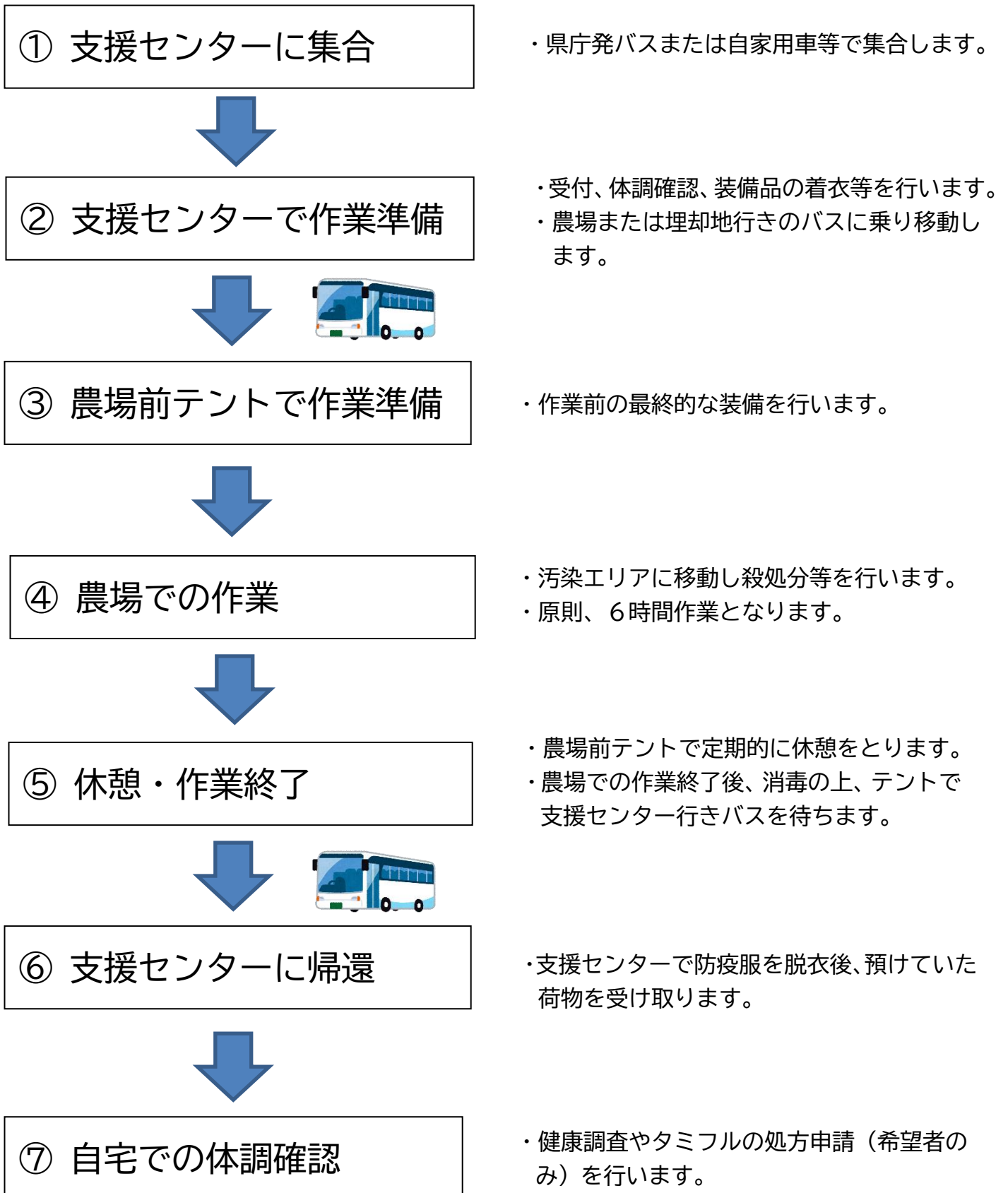
貴 重 品 貴重品は支援センターで預けるか、できるだけ持って来ないようにお願いします。また、携帯電話やスマートフォンの農場への持ち込みはできません。

緊 急 連 絡 農場内に携帯電話は持ち込めませんので、次の緊急連絡先をご家族などに伝えてください。

緊急連絡先： 県庁農業政策室調整班 022-211-2892

■ 作業の流れ

防疫措置は以下の流れで進みます。



■ 支援センターに集合

- ①自家用車等または公共交通機関で所属から指定された時間に指定された場所(県庁等)へお越しください。
- ②集合したら、手配したバスで支援センター(発生地域の体育館や公民館など)へ移動します。なお、支援センターに自家用車等で直接集合する場合があります。



■ 支援センターでの作業準備

(1) 受付

支援センター到着後、受付を行い、貴重品等を指定の場所に預けてください。

(2) 体調確認

体調確認は、防疫服に着替えて作業する全ての方が対象です。

作業従事の可否は、支援センター受付後のセルフチェックで判断してください。

- ①受付後、掲示に従って体調確認ブースに進み、体調確認票に氏名・所属等を記載してください。
- ②体調確認ブースで体温及び血圧を測定し、体調確認票に記載したら、ブースにある提出ボックスに提出してください。
- ③体調確認票の基準値を超えた場合、支援センターのスタッフに申し出てください。

(注意)：体調確認の結果、農場での防疫作業に従事できない場合は、支援センターなどの作業に従事していただくか、またはお帰りいただくことがありますのでご了承ください。



体調確認票

記入日：令和 年 月 日

1. 以下に必要事項を記載してください

氏名		勤務先 (所属名)		性別	男・女
職員番号 (県職員のみ)					
住所	市・町・村	年齢	満 歳	今回の従事 回数	回

2. ブースで体温・血圧を測定し、以下のいずれかにチェックがつく場合は、農場で作業することはできませんので、お近くのスタッフに申し出てください。

体温	37.5℃以上である	<input type="checkbox"/>
血圧	収縮期160mmHg以上である	<input type="checkbox"/>
	拡張期100mmHg以上である	<input type="checkbox"/>

3. 以下の要件に一つでも「はい」がある場合は、農場で作業することはできません。 (要件をよく読み、当てはまる場合は、お近くのスタッフに申し出てください。)

質問事項（当てはまる項目を○で囲んでください）	回答欄	
呼吸器疾患、肝臓病、腎臓病、心臓病、糖尿病、血液疾患、精神疾患等で通院加療中である	はい	いいえ
医師から重度の肉体労働を禁止されている	はい	いいえ
妊娠している可能性がある	はい	いいえ
作業当日37.5℃以上の発熱がある等、風邪様症状があり体調不良である	はい	いいえ
高血圧症で最高血圧140、最低血圧90未満にコントロールされていない	はい	いいえ
家さん（鳥インフルのみ）・家畜（鳥インフル以外の場合）を飼養している	はい	いいえ

※ 以下、鳥インフルエンザの防疫作業に従事する場合のみ記入

インフルエンザ発症後10日以内である	はい	いいえ
インフルエンザ発症後2日以内の同居家族がいる	はい	いいえ
抗インフルエンザ予防薬（タミフル等）の処方を制限されている	はい	いいえ

記入終了後、ブースにある提出BOXに提出をお願いします。

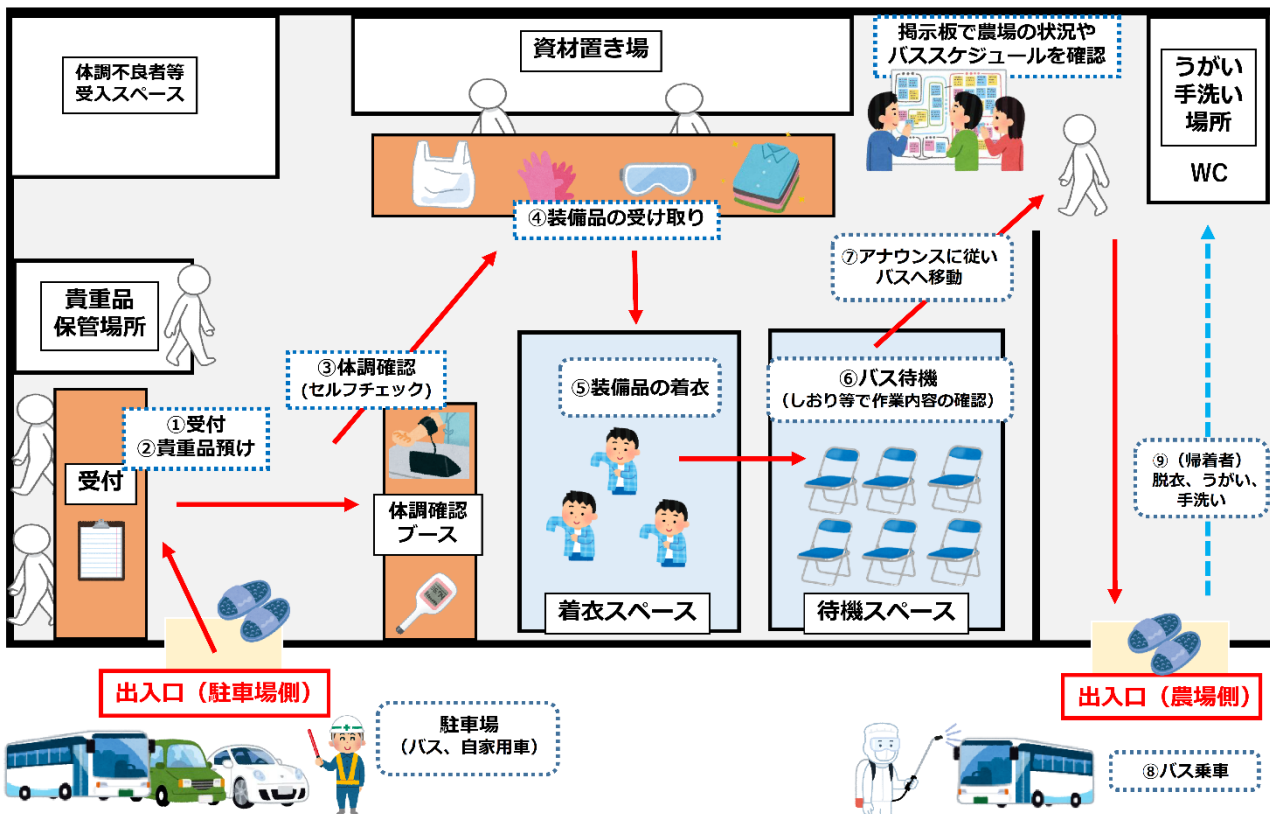
※ 本票に記載の情報については、体調確認以外の目的には使用しません。

(3) 支援センターでの準備内容

- ①防疫服等は、サイズを確認して受け取ってください。
- ②原則として、農場内(埋却地含む)からは作業終了時まで出られませんので、支援センターで用を済ませておいてください（農場内の仮設トイレは混雑が予想されます）。
- ③防疫服の前後に、クール数、チーム名、所属及び氏名をマジックペンで記入してください。
- ④防疫服等は定められた方法で正しく着用してください（詳しくは、次ページの「支援センターにおける着衣手順」を参照してください）。
- ⑤防疫作業に関するオリエンテーションを受けてください。
- ⑥支援センターチームリーダーの指示により、作業グループごとにまとまって行動してください。



支援センター（動線・レイアウト例）



支援センターにおける着衣手順

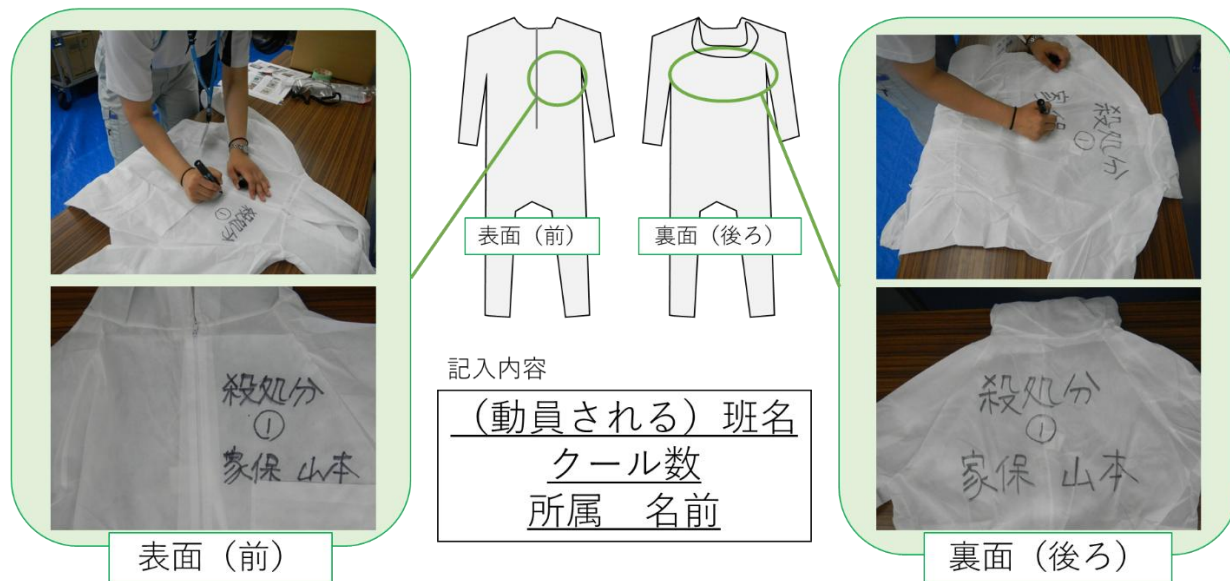
①資材の受け取り



【事前準備】

- ・髪の毛が長い場合は、ゴムで縛るなどしてください。
- ・ピアス、指輪、時計等を着用している場合は外しておいてください。
- ・私服のポケットの中を確認し、入っている物は、かばんの中に移してください。

②防護服への記名



③防護服を着る ※分かりやすいよう、写真では内側に黄色、外側に白色を着用しています。



【参考】鳥インフルエンザにおける健康調査及びタミフル処方について

- ・ 令和 5 年11月厚生労働省通知により、防疫作業従事前後の健康調査やタミフル処方の取扱いが見直されました。
- ・ これにより、支援センターに職員を配置して行う健康調査及びタミフル処方是不行、後日の申請により処方されることとなりました。
- ・ 防疫作業に従事した際の感染防護が不適切な状況であった方がタミフルの予防投与を希望される場合、保健所長の判断でタミフルの予防投与が行われる場合があります。
- ・ 予防投与の条件に該当しており、タミフルの処方をご希望の方は、P21別添「様式7 鳥インフルエンザに関する健康調査のお願い」をご確認の上、当該様式に記載の「抗インフルエンザ薬予防投与申請（みやぎ電子申請システム）」にて、防疫従事終了時点から12時間以内に申請をお願いします。

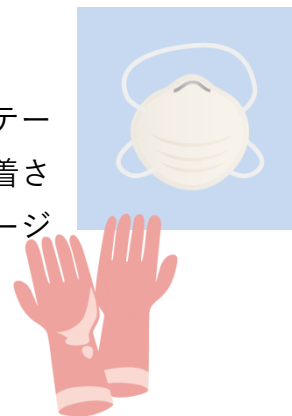
抗インフルエンザ薬予防投与申請（みやぎ電子申請システム）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/bird-flu.html>



■ 農場前テントでの作業準備

防疫服着脱補助係の指示に従って、ゴム手袋等を着用し、隙間を粘着テープで目張りしてください。病原体から身を守ると同時に、病原体を付着させたまま農場外に出ることのないように、厳重にお願いします（次ページ「農場前テントでの着衣手順」を参照）。



■ 責任者等の区別

農場では、役割ごとに衣服を以下のとおり区別しています。

農場リーダー 白の防疫服にビブス着用

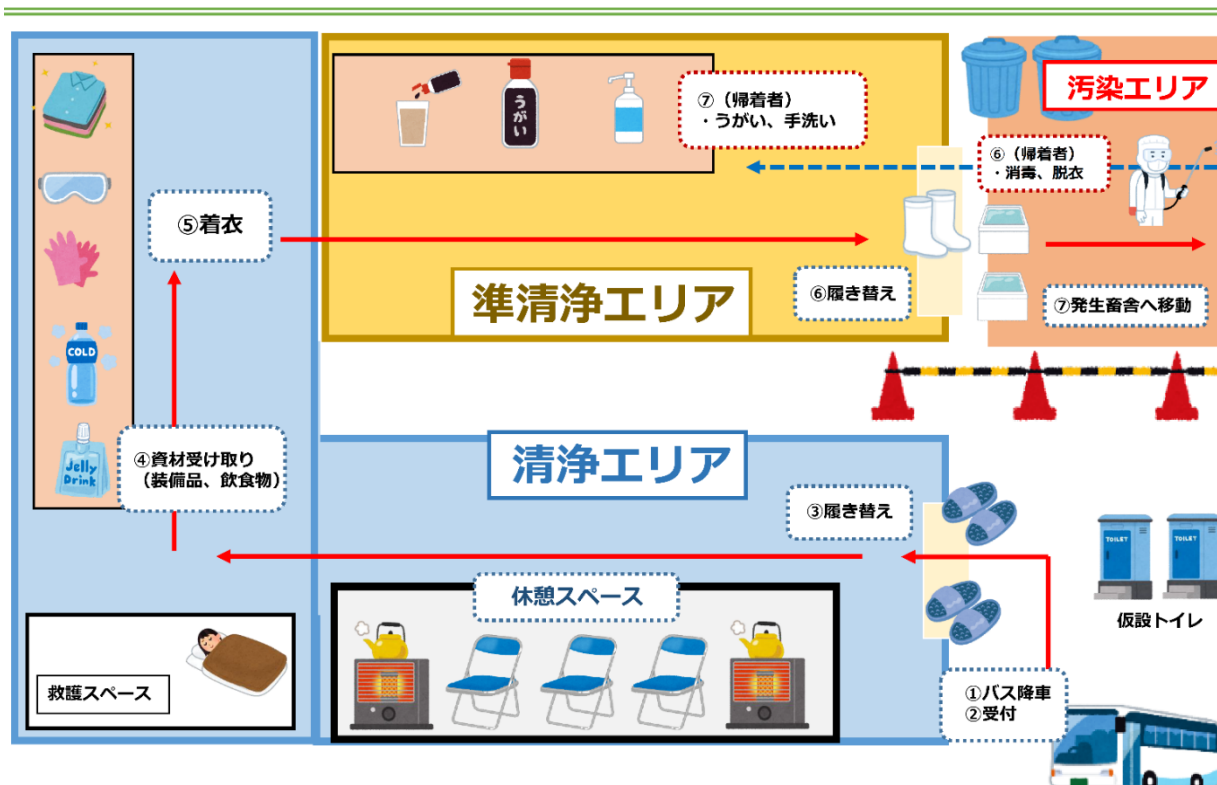
家畜防疫員または獣医師（リーダー以外） 白の防疫服に赤字で「V」のマーカ

防疫作業従事者 白の防疫服

■ 農場内のエリア区分

- ・農場前テントについては、ウイルスの散逸防止のため、清浄エリア（ウイルスフリーの区域）、準清浄エリア（原則ウイルスフリーだが、交差汚染が懸念される区域；防疫服を脱衣する場所）に区分されており、準清浄エリアから先はすべて汚染エリア（ウイルスが存在する区域；農場内）となっています。
- ・農場内（汚染エリア）から農場前テント（清浄エリア）にウイルスを持ち出さないように、防疫服脱衣の順番を遵守し、消毒を確実に実施しましょう。

農場前テント（動線・レイアウト例） テント3張の場合



農場前テントでの着衣手順

- 防疫服から出ないように髪をまとめる。
- あごヒゲがあると N95 マスクがフィットしないため、事前にヒゲを剃る。
- 確実に着衣できているか、互いに（または鏡を見て）確認しながら、防疫服を着衣する。



①キャップをかぶる。

髪の毛、両耳が出ていないか確認する。



②N95 マスクをつける。

上側のゴムは耳の上を通し頭に掛け、下側のゴムは耳の下を通し、後頭部に掛ける。



③マスクを手で押さえ、息を吐いたときにマスクが膨らみ、吸ったときにマスクが顔に吸い付くかを確認する。



④髪が外に出ないように外側の防疫服のフードをかぶる。
(内側のフードはかぶらない)



⑤ゴーグルを着ける。
隙間ができないように、ゴーグルを N 9 5 マスクとフードにフィットさせる。



⑥インナー手袋を着ける。
防疫服の袖をまくる。
折り返しの部分を持ち、片方の手を入れる。
折り返しの部分をのばす。



⑦インナー手袋を内側の防疫服の袖の上に被せてつける。



⑧外側の防疫服の袖をインナー手袋の上にかぶせるようにのばす。



⑨アウター手袋を外側の防疫服の袖の上にかぶせるように装着する。



⑩アウター手袋と外側の防疫服の間に目張りをする(はがしやすいようテープの先端は折り返しておく)。



⑪外側の防疫服の襟を目張りする(はがしやすいようテープの先端は折り返しておく)。



⑫長靴を履く。
内側の防疫服の裾は長靴の中に入れ、外側の防疫服の裾は長靴の外に出し、まくっておく。



⑬外側の防疫服の裾を下ろし、長靴の脚の部分を覆う。



⑭足を動かしやすいように余裕を持たせて裾に目張りをする(はがしやすいようテープの先端は折り返しておく)。



⑮装着完了
隙間ができていないか、よく確認する。

○防疫服の識別

各リーダー：防疫服にビブス
獣医師：防疫服にマーカー
作業従事者：防疫服のみ

※ゴーグルの取扱いについて

ゴーグルが曇って視界不良が生じた場合、危険ですので、すみやかにリーダーに申し出て、農場前テントでゴーグルを交換してください(鳥インフルエンザ防疫業務のため鶏舎内にて作業をしている場合には、感染予防のため、鶏舎の外に出てからゴーグルを外すようお願いします)。なお、消毒作業や消石灰を使用する場合には、失明の恐れがありますので必ずゴーグルを着用してください。

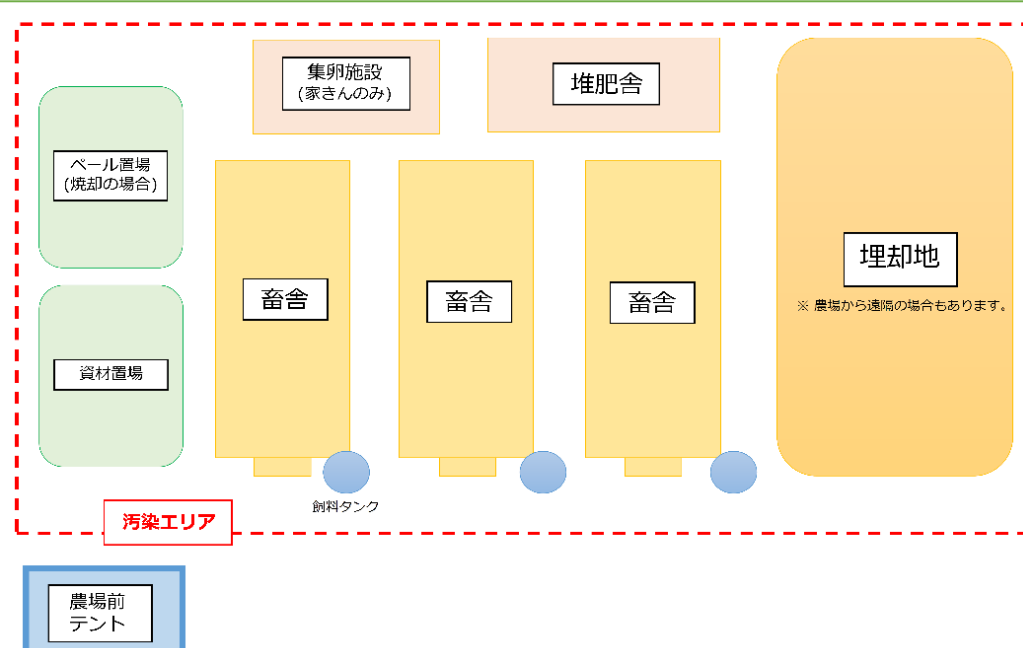


■ 農場での作業

- ・作業前にリーダー等から作業内容、作業時間の指示があります。
- ・基本的に、20名単位のユニットで、6時間程度作業します（殺処分、消毒等）。
- ・原則として作業終了時まで発生農場から出られませんが、怪我、体調が悪い場合などは、速やかにリーダーに申し出て指示を受けてください。
- ・農場外へ退出する必要がある場合にはリーダーに申し出て、全身消毒後、脱衣、手洗い、うがいを行って退出ください。
- ・感染防止のため、原則、マスク、ゴーグル、手袋、防疫服等を外したり脱いだりしないでください。やむを得ず脱着したい場合は、リーダーに申し出願います。
- ・ゴーグルが曇って視界不良が生じた場合、危険ですので、すみやかにリーダーに申し出て、農場前テントでゴーグルを交換してください（鶏舎内で作業をしている場合には、感染予防のため、鶏舎の外に出てからゴーグルを外すようお願いします）。
- ・防疫作業における事故を防ぐため、次ページの「防疫作業における事故防止のために」を事前に確認し、作業中はリーダーの指示に従ってください。

係の例（採卵鶏）	人数	作業内容
家きん取出し（捕鳥）係	5	鶏をケージから取り出し、ペールに入れる。
運搬係	7	ペールに入った鶏を、ガス注入場所まで運搬。
炭酸ガス注入係	2	鶏の入ったペールに炭酸ガスを注入する。
搬出係	5	ガス注入後のペールから死体を取り出し、袋詰め。
記録・時計係	1	搬出係が取出した鶏の数を記録する。 また、作業・休憩時間を管理する。
計	20	

農場レイアウト例（汚染エリア）



防疫作業における事故防止のために

次のことに注意してください！

- ◎ **カラーコーン等で目印している危険箇所**には注意してください。
- ◎ フォークリフト・重機の動線に注意し、**車両の死角に入ることや急な飛び出しは絶対に避ける**こと。



- ◎ フォークリフト・重機のオペレータや、玉掛けを行う作業者は、**必ずヘルメットを着用し、絶対に吊り荷の下に入らない**こと。
- ◎ **消石灰・消毒薬**を使う際は、**必ずゴーグルを着用**する。
(目に入ると、失明の恐れがあります)
※ ゴーグルが曇ると危険ですので、すぐにリーダーに申し出ること。



- ◎ **家畜の動きに注意**し、取扱いは**農場リーダーの指示**に従うこと。
- ◎ **夜間は足元に注意し、作業動線以外の場所に立ち寄らない**こと。
(急な段差や、通路の側溝等に注意してください)
- ◎ 体調が悪い時は、すぐに**農場リーダー**に伝達する。
(農場リーダーは防護服の上に**ビブス**を着用しています)

発生農場での作業例 (鳥インフルエンザ)

ユニット毎にリーダーの指示に従ってください。

家さん取出し係



- ・採卵鶏では、鶏の翼や足をつかみケージから取り出し、運搬係が運ぶ台車に載せたポリ容器に10羽ずつ入れていく(すでに死亡している鶏はそのまま残す)。
- ・肉用鶏では4人が板やネットで鶏を囲み、3人で捕鳥し、ポリ容器に5羽程度(鶏の大きさによる)入れ運搬係へ渡す。
- ・総羽数確認のため、ポリ容器に入れる羽数はリーダーの指示に従ってください。

運搬係



- ・採卵鶏では、台車に載せたポリ容器に規定の羽数を入れて炭酸ガス注入係まで運ぶ。更に空のポリ容器を捕鳥係まで運ぶ。
- ・肉用鶏では台車又は仮設レールを使い殺処分係へ運ぶ。また空の容器を採卵鶏と同様に捕鳥係まで運ぶ。

炭酸ガス注入係



- ・鶏が入ったポリ容器に5秒間炭酸ガスを噴射し、蓋を閉め1分間静置後容器を左右に揺すり、羽音などの生存反応を確認する。死亡を確認したら搬出係へ渡す。

搬出係



- ・鶏をポリ容器から取り出し、ビニール袋に入れ、口を専用バンドで結束後鶏舎外に搬出しフレコンバックに投入。
- ・焼却の場合は、ビニール袋をミッペールに詰め、搬出の準備をする。

埋却地チーム



- ・掘削した埋却溝に石灰を散布し、シートを敷き準備をする。
- ・重機で運ばれてきたフレコンバックの埋却溝投入補助を行う。
- ・焼却の場合は、トラックによる搬出の準備及び焼却作業を補助する。

清掃・消毒チーム

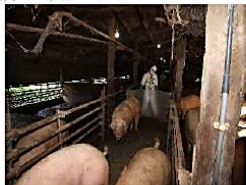


- ・殺処分及び鶏の搬出が終わったら、鶏舎内の鶏卵・鶏糞・飼料等の搬出、清掃、消毒を順次行う。

発生農場での作業例 (豚熱)

ユニット毎にリーダーの指示に従ってください。

○豚の追い出し



コンパネや波板などを使って、豚を豚房から数頭ずつ通路に追い出す。

○誘導



柵やコンパネ等により四方を囲った殺処分場所へ豚を誘導する。

○殺処分



豚の大きさにより処分方法が異なります。獣医師が処置を行いますので、それらの作業補助をお願いします。

大きい豚：電気ショック＋注射

小さい豚：電気ショック＋注射または炭酸ガス

○搬出



殺処分した豚を輸送車両に積載するために、重機のオペレーターと協力し畜舎外に搬出する。

親豚等の大きい豚：1頭毎にロープでつり上げて搬出する。

それ以外の豚：数頭ずつフレコンバックに入れて搬出する。

○記録



各班の殺処分頭数、汚染物品として処分した残飼量等を記録し、班長またはリーダー、サブリーダーへ報告する。

○農場の清掃・消毒



畜舎内の排泄物、敷料、飼料を全て搬出し、餌箱、水槽、床、壁、柵の清掃を行う。

清掃終了後、畜舎内、外周ともに動力噴霧器等を用いて水洗、消毒し消石灰を撒布する。

■ 休憩・作業終了

■ 休 憩

- ・作業中は定期的に休憩をとりますが、各リーダーの指示に従ってください。
- ・農場前テントで休憩する場合は、
 - ① 農場出口の消毒場所で、消毒担当者から全身の消毒を受けてください。特に長靴や手袋は入念に消毒し脱衣エリアへ入ります。
 - ② 脱衣エリアでは、手順に沿って手袋、ゴーグル、キャップ、マスクを外し、外側の防疫服1枚と長靴を脱ぎ、最後にインナー手袋を外します。
 - ③ 手洗いエリアでは、手洗いしアルコールで消毒後、洗顔、うがいをしてください。休憩中も原則、農場前テントからは出ないようにお願いします。
(次ページの「作業後・休憩時の防疫服脱衣手順」を参照)

■ 農場前テント（農場内再入場時）

- ・防疫服等を手順に沿って着用し、農場内へ再度入場します。

■ 農場前テント（退場時：作業終了後）

- ・休憩時と同様の手順で、消毒、防疫服の脱衣等を行ってください。
- ・防疫服を全て脱ぎ、新しい防疫服を1枚着て、サンダル等を履きバスで支援センターへ帰ります。

作業後・休憩時の防疫服脱衣手順



①全身消毒後、目張りをはがす。



②アウター手袋の目張りをはがす。



③汚染されている部分に触れないよう長靴の目張りをはがす。



④裏が表になるようアウター手袋を外す。



⑤インナー手袋を消毒する。



⑥前面に触らないよう紐を持ってゴーグルを外す。



⑦インナー手袋を消毒する。



⑧外側の防疫服を裏返ししながらを脱ぐ。



⑨インナー手袋を消毒する。



⑩マスクは紐を持って、キャップはつまんで外す。



⑪インナー手袋を消毒する。



⑫長靴を脱ぐ。



⑬手袋の縁をつまんで裏表が反転するようにインナー手袋をとる。



⑭手洗い、洗顔、うがい



⑮防疫服を脱ぎ、新しい防疫服を着用後、サンダルを履き、バスに乘車する。

※休憩時は、①～⑮の順で脱衣を行い、内側に着衣している1枚目の防疫服を着たままで休憩する。

休憩後は、再度、防疫服1枚を重ね着し、農場前テントでの着衣手順に従い装着する。

■ 支援センターに帰還

- ・ 支援センター到着後、防疫服を脱ぎ、手洗い・手指消毒・うがいをします。
- ・ 体調不良等がある場合は、すみやかに支援センター内の職員に申し出てください。
- ・ 預けておいた所持品があれば、確認し受け取り、帰宅の準備をします。
- ・ 着替えた衣類などはビニール袋に入れ持ち帰り、直ちに洗濯してください。
- ・ 担当者の案内に従い、バス等により帰宅します。

■ 自宅での体調確認

解 散 後 速やかに帰宅し、入浴、洗髪してください。衣服も洗濯してください。

終 了 後 7日間は鶏等の家きん類や、牛、豚等の家畜に接触しないでください。

健 康 観 察 鳥インフルエンザの場合、従事後の10日間（潜伏期間）は、朝晩の体温、健康状態を別添に掲載の記録用紙に記録してください。

※ 記録用紙の回収は行いませんので、ご自身で処分をお願いします。

期間中体調に異常がある場合は、最寄りの（ご自身の居住地を管轄する）保健所に連絡し、指示に従ってください。予防投与による体調不良についても同様にご相談ください。

防疫措置後のメンタルの不調・悩み等は、下記にご相談ください

● 職員健康相談室（職員診療所）

電話相談 022-211-2253

面談による相談（産業医、精神科医、看護職）*要予約（電話またはメール）

メール：soudansitu@pref.miyagi.lg.jp 電話：上記と同じ

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00

● 24時間電話健康相談サービス（地共済健康ダイヤル）

電話 0120-7832-24

（心理カウンセラーによる電話でのメンタルヘルスカウンセリングは9:00～22:00）

● 地共済こころの健康相談窓口（メンタルヘルスカウンセリングサービス）

電話 0120-7834-12（面談予約専用）

Web <https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名：chikyosai パスワード：783412

受付時間 電話：平日9:00～21:00/土曜日9:00～16:00

（日曜・祝日・12/31～1/3を除く）

Web：24時間・年中無休

● 厚労省 こころの耳 働く人のメンタルサポート

Web <https://kokoro.mhlw.go.jp/>

電話相談・SNS相談・メール相談の各種相談窓口があります。

鳥インフルエンザに関する健康調査のお願い

- ・国内において、これまで鳥インフルエンザが人に感染した事例はありません。
- ・感染防護具を適切に着用していれば、感染した鳥と接触しても感染しません。

1 防疫作業従事後のモニタリングについて

- ・感染鳥類等との接触後 10 日間（最終接触日を 0 日として 10 日目まで）は、御自身で 1 日 2 回の検温を行い、以下の体調記録用紙に記録をお願いします。
- ・防疫作業中の感染防護が不適切だった方（P2）は、モニタリング期間中のマスク着用をお願いします。
- ・体温記録用紙は、保健所が健康調査に用いる場合があるので、正しく記録するようお願いします。

<モニタリング期間中に症状が出現した場合>

- ・インフルエンザ様症状（38℃以上の発熱及び急性呼吸器症状（鼻水、鼻づまり、咽頭痛、咳））が出現した場合、受診や検査をお勧めする場合があります。御自身が現在所在する市町村を管轄する保健所・支所（所在地保健所・支所）に速やかに相談願います。

(P4 参照)

命に関わる程*に体調が悪く、救急車を呼ぶ場合

- ・救急車を呼ぶ時に鳥インフルエンザの防疫作業をしたこと、体調確認期間中であることを伝えてください。
- ・体温記録用紙を持参してください。

*呼吸が苦しい、40℃以上の急な発熱、1 人で立てない、歩けない、意識が朦朧とする又はない

2 タミフルの予防投与について

予防投与の対象者：感染鳥類等と直接接触し、かつ PPE 着脱に不備*があった方

【参考】PPE 着脱の不備

- ① 防護衣（防護服/帽子/手袋/N95 マスク/ゴーグル）のいずれかを外して、感染鳥類等を取り扱った方
- ② 適切な方法・場所（換気が十分かつ他者との距離が離れている所）で脱衣をしなかった方

(参考) タミフルについて

- ・接触後 48 時間以内にタミフルを服用すると鳥インフルエンザの発症の頻度を 10 分の 1 程度に抑えることができると言われています。
- ・内服による副作用としては、腹痛、下痢、嘔気などの胃腸障害や頭痛、嘔気・嘔吐等が報告されています。また、ショック、アナフィラキシー様症状、肺炎、肝炎等の重大な副作用の報告があります。

※タミフルの予防投与を受けた方の通院（持病・ケガ）については、必ず受診前に主治医へ防疫作業に従事したこと、タミフルの予防内服をしていることを伝えた上で受診について相談してください。

3 タミフル予防受取までの流れ

【ステップ1】 電子申請

- ・タミフルの予防投与は、最終接触から 48 時間以内に行われる必要があります。
感染防護が不適切かつタミフルの予防投与を希望する場合は、防疫従事直後に電子申請を行うようお願いします。
す。(体制整備に時間を要することから、防疫従事終了時点から 12 時間以内に申請願います。)

抗インフルエンザ薬予防投与申請（みやぎ電子申請システム）
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/bird-flu.html>



【ステップ2】 保健所の聞き取り・タミフル投与の判断

- ・電子申請の内容を踏まえ、日中（午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで）に発生地所管保健所（養鶏場が所在する市町村を所管する保健所）にて電話等による聞き取り調査を行います。
※48 時間以内に予防投与が行えない場合には予防投与を行いません。

【ステップ3】 タミフル受取

- ・タミフルのお渡しは保健所等で行います。発生地所管保健所と調整の上、御自身でお越してください。
※詳しい受取場所は P4【参考 B】を御確認ください。
※受取時間：原則平日午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までとなります。
※発生地所管保健所及び薬務課（県行政庁舎内）においては、土日休日（対応時間は平日に同じ）の受け取りが可能です。

体温記録用紙

- 鳥インフルエンザ観察期間は最終接触日（防疫作業最終従事日）を「0日目」として10日間です。
- **38℃以上の発熱及び急性呼吸器症状（鼻水、鼻づまり、咽頭痛、咳）**がないか確認してください。
- **上記の症状が現れた場合、速やかに居住地最寄り保健所・支所（P4 参照）へ連絡願います。**
- 観察期間中に症状がなければ、感染の心配はなく、周りの方への感染力もないと考えられます。

防疫作業最終従事日（ 年 月 日）*複数日に渡って従事する場合は最終従事日を都度記載願います。

最終 従事後	日付	体温	症状の有無にチェックを入れてください。 症状がある場合は該当の症状に○を付けてください。	
0日 (当日)	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
1日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
2日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
3日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
4日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
5日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
6日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
7日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
8日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
9日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
10日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()

		夕	℃	□なし □あり 鼻水 / 鼻づまり / 咽頭痛 / 咳 / その他()
--	--	---	---	--------------------------------------

10 日間経過後の体温記録用紙は回収しません。御自身で処分をお願いいたします。

【参考 A】有症状時連絡先 ※夜間は警備等に電話が繋がります。用件を伝え、折り返しのお電話を待ちください。

管轄保健所（支所）			所在地	電話番号	
				日中	夜間
仙 台 市	青葉区保健福祉センター	管理課	青葉区	022-225-7211	左記に同じ
	宮城野区保健福祉センター	管理課	宮城野区	022-291-2111	〃
	若林区保健福祉センター	管理課	若林区	022-282-1111	〃
	太白区保健福祉センター	管理課	太白区	022-247-1111	〃
	泉区保健福祉センター	管理課	泉区	022-372-3111	〃
管轄保健所（支所）			所在地	電話番号	
				日中	夜間
宮 城 県	仙南保健所	疾病対策班	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町	0224-53-3121	0224-53-3111
	塩釜保健所	疾病対策班	塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町	022-363-5504	080-2380-3925 (公用携帯)
	塩釜保健所岩沼支所	疾病対策班	名取市、岩沼市、亘理町、山元町	0223-23-1512	0223-22-2188
	塩釜保健所黒川支所	地域保健班	富谷市、大和町、大郷町、大衡村	022-358-1111	022-373-8366
	大崎保健所	疾病対策班	大崎市、加美町、色麻町、涌谷町、美里町	0229-91-0714	0229-91-0701
	大崎保健所栗原支所	疾病対策班	栗原市	0228-22-2117	0228-22-2111
	石巻保健所	疾病対策班	石巻市、東松島市、女川町	0225-95-1430	0225-95-1411
	石巻保健所登米支所	疾病対策班	登米市	0220-22-6119	0220-22-6111
	気仙沼保健所	疾病対策班	気仙沼市、南三陸町	0226-22-6662	0226-22-6662

【参考 B】タミフル受取が可能な保健所一覧 ※支所でタミフルの受け取りは、できません。

受取場所	所在地	所管市町村	受取可能時間
仙台市保健所	仙台市	仙台市全域	(平日) 8：30～17：15
仙南保健所	大河原町	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町	(平日) 8：30～17：15
塩釜保健所	塩竈市	塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町、名取市、岩沼市、亘理町、山元町、富谷市、大和町、大郷町、大衡村	(平日) 8：30～17：15
大崎保健所	大崎市	大崎市、加美町、色麻町、涌谷町、美里町、栗原市	(平日) 8：30～17：15
石巻保健所	石巻市	石巻市、東松島市、女川町、登米市	(平日) 8：30～17：15

気仙沼保健所	気仙沼市	気仙沼市、南三陸町	(平日) 8 : 30~17 : 15
薬務課	仙台市	—	(土日祝日) 8 : 30~17 : 15

鳥インフルエンザに関する健康調査のお願い

- ・日本では、今までに鳥インフルエンザが人に感染したことはありません。
- ・マスクや防護服などを正しくつけていれば、鳥に触っても感染しません。

1 防疫作業後の体調確認について

- ・防疫作業をした後は、作業した次の日から 10 日間は 1 日 2 回、体温を測り、体温記録用紙に記録してください。
宮城県が健康状態の確認のために使うことがあります。
- ・防疫作業中の防護服やマスクなどの感染対策が不適切だった方は、体調確認期間中はマスクを着用してください。

<体調確認期間中に症状が出現した場合>

- ・38℃以上の熱と鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せきが出現した場合は速やかに派遣会社へ相談願います。

命に関わる程*に体調が悪く、救急車を呼ぶ場合

- ・救急車を呼ぶ時に鳥インフルエンザの防疫作業をしたこと、体調確認期間中であることを伝えてください。
- ・体温記録用紙を持参してください。

*呼吸が苦しい、40℃以上の急な発熱、1人で立てない、歩けない、意識がはっきりしない、または意識がない

2 タミフルの予防投与について

予防投与の対象者：鳥と直接接触し、かつ、感染対策が不十分だった方*

*感染対策が不十分だったとは以下の状況を指します。

- ① 防護服、帽子、手袋、マスク、ゴーグルのどれかを付けずに（外して）感染した鳥などを直接接触した方
- ② 換気の悪い場所や他の人に触れる距離で防護服を脱いだ方

感染した鳥と接触した後 48 時間以内 にタミフルを飲むと鳥インフルエンザの発症を 10 分の 1 程度に減らすことができると言われています。

※タミフルの予防投与を受けた方の通院（持病・ケガ）については、必ず受診前に主治医へ防疫作業に従事したこと、タミフルの予防内服をしていることを伝えた上で受診について相談してください。

3 タミフルの処方を希望する場合の流れ

【ステップ1】派遣会社担当者へ申し出

- ・①②に該当する場合かつタミフルの処方を希望する場合は、すぐに派遣会社担当者へ伝えてください。
※鳥と接触後 48 時間以内にタミフルを内服できない場合、タミフルの処方はいりません。
- ・「タミフル処方希望者情報シート」を派遣会社の担当者へ提出してください。

【ステップ2】タミフル受取

- ・派遣会社担当者からタミフルと「抗インフルエンザ薬（タミフルカプセル）を服用する方へのご案内」を受け取り、早めに内服してください。

※飲み始めた後もモニタリング（体温測定）は続けてください。

体温記録用紙

- 体調確認期間は鳥と接触した日を「0日目」として10日間です。
- **38℃以上の熱と鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せき**がないか毎日確認してください。
- **上記の症状が現れた場合、速やかに派遣会社へ連絡してください。**
- 10日間、症状が出なければ、感染の心配はなく、周りの人へも感染させることはありません。

防疫作業最終従事日（ 年 月 日）*何日も作業する場合は最後に作業した日にちを書いてください。

最終 作業後	日付	体温		症状の有無にチェックを入れてください。 症状がある場合は該当の症状に○を付けてください。	
0日 (当日)	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
1日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
2日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
3日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
4日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
5日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
6日	/	朝	℃	□なし □あり	鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他

				()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
7日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
8日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
9日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
10日	/	朝	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()
		夕	℃	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 鼻水 / 鼻づまり / <u>のどの痛み</u> / <u>せき</u> / その他 ()

10日間経過後の体温記録用紙は回収しません。